

今年も残りわずかとなりました。みなさんにとって2022年はどんな年でしたか。

水平社創立100周年の今年、差別解消に向けて熱心に取り組む仲間がいる一方で、戦争、SNSでの誹謗中傷、いじめ、ジェンダー差別など心を痛める事例が、いまだに数多く残されているのが現実です。そんな中で、自分たちが今できることは何かと考え、学び、行動することはできたでしょうか。2学期の活動と学びを振り返ってみましょう。そして、2023年に向けて、更に人権意識を高めていきましょう。

① 文化祭 活動報告

11月11日(金)に文化祭が行われました。今年度は、人権作文の発表だけでなく、『人権委員会コーナー』を開設しました。展示の内容や様子、人権委員3年生からのメッセージをご覧ください。

【人権作文】各クラスから選ばれた作文を机上に展示し、座ってゆっくり読めるように工夫しました。熱心に読んでくださる方がたくさんいて、とてもうれしかったです。



全体会発表作文



『起立性調節障害への理解を』
2年 高橋 愛理さん
『みんな違うから みんないい。』
1年 古味 華恋さん

【人権ポスター】各クラスから選ばれたポスターを展示しました。たくさんのメッセージが込められた色とりどりの人権の花が咲いているようでした。

最優秀作品



2年 石川夢乃さん

優秀作品



2年 近藤柚希さん

【人権標語】土居高生が作ってくれた人権標語を全て展示しました。その中で三つの作品が選ばれ、市の「人権のつどい」において展示されました。



優秀作品

『普通って？ みんなちがって 個性だよ』
3年 曾我部圭人さん
『その言葉 あの子へのナイフとなるか 救いとなるか』
2年 合田 菊乃さん
『考えて 自分の発言 適切か』
1年 神岡 春花さん

この他、【ホームルーム活動の記録】【シトラスリボンプロジェクト】【土居高生の声】【人権委員コーナー(人権クイズ)】など、いろいろ展示しましたが、いかがでしたか？一人一人の意見に触れることで自分自身の人権意識も高まったと感じました！人権委員になって、自分たちにできることをすることができ、本当によかったと思います。来年も素敵な作品を待っています♪ (人権委員 K)



1年 山元実結さん

② 校内人権・同和教育講演会

演題 『今 輝くために』 講師 谷口 晃 氏(西条市青少年育成センター 所長)

谷口先生の優しい語り口と温かい弾き語りの歌声から、たくさんの大切なメッセージが私たちに届けられてきました。その想いに応えるように、率直な気持ちや自分の今までの経験、また、これからの決意を語ってくれる感想がたくさん寄せられました。その中からいくつか紹介したいと思います。



- 谷口さんの心温まるお話から、命の大切さについて、改めて知ることができました。今、私たちが生きているのは当たり前ではなく、奇跡なんだと思います。私たちが今生きていられるのは、家族や先生、友達みんなに支えられているからなんだと思いました。一つ一つのお話の後に歌ってくれる歌も、すごく素敵でした。
- 僕も、親に心をえぐるような言葉を投げたことが一回だけあり、そのとき、親が泣きながら僕に話すのを見て、自分とはんでもないことをしてしまったと思ったことがあります。今日話を聞いて、改めて、親には感謝して生きていきたいなと思いました。
- 谷口さんのお子さんのお話を聞いて、こんな差別をされたことを見るのは初めてだったのでとても怖くなりました。そんなにされても、我慢してお父さんやお母さんの前では笑顔で普通にいたのは、本当にしんどかったと思います。こんなことがなくなる世の中になるように、自分にできることを探していこうと思います。
- 自分がこのようなことをされたら、どんな気持ちになるだろうと思いました。いじめや差別をされる命はひとつもないと認識することが重要だと思います。これからは苦しんでいる人を見たら、優しく接したいと思います。
- 私のおばあちゃんも週に2回、ご飯を作ってくれます。もやしナムルを作ってくれたとき、「これおいしい!また食べたい!」と言うと、週に1回は作ってくれるようになりました。晃さんのおばあちゃんの話を知っていると、おばあちゃんの顔が思い浮かび、涙が止まりませんでした。昨日も、もやしナムルを食べました。とてもおいしかったです。おばあちゃんの愛を感じました。

ポスターや作文、感想を見て、一人一人考え方は違うけれど、人権についてみんなよく考えているなと感じました。今までの自分とは違う見方、捉え方ができる機会になりました。(人権委員 M)

② 人権委員コーナー

(1) 人権に関する本を読んでみよう!

『大人も知らない「本当の友だち」の作り方』 松本啓子 著 / かなしろにゃんこ マンガ
マンガ+解説という構成の本です。小学校高学年から高校生まで、幅広い年代で読むことができる本だと思います。本当の友だち——それは、ありのままの相手を大切に、ありのままの自分も大切にもらえる関係のこと。きらわれたくないから、と「いい人」をしているばかりでは友情は育ちません。毎日の学校生活で友だちと心を通わせ、もっともっとなかよくなれる方法が満載です!

～ 人権委員 3年 鈴木杏菜さん推薦 ～



(2) 人権クイズに挑戦!! 文化祭でも展示していたよ。分かるかな???

下のリボンマークは、それぞれメッセージを伝えるために作られたものです。「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動のシンボルマークはどれでしょう? ～ 人権委員 3年 杉尾 咲弥さん出題 ～



Pink Ribbon

Orange Ribbon

Citrus Ribbon

これから免許を取るみなさん、確認してね!

1 学期号 人権クイズのこたえ



← 初心運転者標識

高齢運転者標識 →



← 聴覚障がい者標識

身体障がい者標識 →

